

語彙の拡充と定着化に関する研究

言葉に対する興味・関心を喚起するための指導法を中心として

足利市立梁田小学校

54・55年度足利市教育委員会指定研究学校第1年次の実践報告として

1 研究のねらい

日本語は、我々日本人にとって、コミュニケーションや思考の手段としての機能を持っている。そればかりではなく、行動調節の手段とさえ考えられている。このことは、言語そのものの機能であると言っても過言ではないだろう。現に、サピア・ウォーフの仮説 (Sapir-whart hypothesis) によれば、言語の構造がそれを使用するものの思考過程に影響するということである。すなわち、前述したこととサピア・ウォーフの仮説とは、基盤を同じくすると言えよう。

以上のようなことから、言語の機能は、語彙として考察する場合にもあてはまると考える。ようするに、語彙量の多少が、その人間のコミュニケーションや思考の深浅にかかわってくると考えるわけである。

これらのことから語彙の獲得が、コミュニケーションや思考の手段の獲得になるとすれば、語彙指導は国語科教育の中で重要な位置を占めるべき存在であると言える。いずれにしても、語彙指導は、国語科教育の中で一つの領域としての位置を与えられるべきものではないかとさえ考える。

しかし、過去の日本における国語科教育の中では、語彙指導の重要性は認められながらも陽の当たる場に出にくい存在であったと言えよう。そこで、本研究は、語彙指導を前面に引き出し、語彙の拡充と定着化に関する指導法の確立を試みようとしたものである。

2 研究の内容

- (1) 本校児童の語彙力（特に、学習基本語彙）の実態をとらえ、教科書教材にとらわれることなく、本校としての学年別学習基本語彙を設定し、その定着化に関する指導法を案出する。
- (2) 実践を通して、語彙の拡充と定着化に関する多様な指導方法の研究を深める。

3 研究の仮説

- (1) 児童が、言葉に対し興味・関心を抱き、国語科の時間に限らず日常生活の中にあっても言葉を意識的にとらえるようになれば、児童自身の中に語彙拡充のための素地が発芽する。
- (2) 児童の意識の中で拡充された語彙は、表現活動を通すことにより定着の域に達する。
- (3) 単に、児童の興味・関心の範囲内で把持した語彙だけでは、真の意味での語彙の拡充と定着化といった視点から見た時には多少の片寄りが認められる。そこで、児童の実態から抽出した学習基本語彙を意図的・計画的に指導することにより、日本語人としての児童の育成が図れる。

4 研究の方法及び研究のすすめ方

(1) 学習基本語彙表（梁田小版）作成のための基礎資料の収集とその方法

① 基礎資料収集のための調査

- ア 調査問題作成のための事前検討と調査の方法について基盤研究
- イ 事前調査問題の作成
- ウ 事前調査の対象の決定（足利市立久野小学校第1学年児童 名）
- エ 事前調査の実施と結果の検討
- オ 本調査のための調査問題の作成
- カ 本調査の実施対象と実施期間の決定
- キ 本調査の集計と結果の検討
- ク 学年別学習基本語彙表の作成

② 学年別学習基本語彙表に基づく指導法の検討と指導プランの作成

③ 語彙の拡充と定着化を図るための授業実践

言葉に対する興味・関心を喚起するための指導の方法はいかにあるべきかという観点を軸にして、以下の研究を深める。

- ア 個人による教材研究と指導案作成
- イ 共同による教材研究と指導案検討
- ウ 研究授業の実施と授業記録の収集及び授業研究
- エ 研究累積のためにア・イ・ウに関する資料・記録の整理保管

5 低・中・高学年別の授業実践例

中学年における語い指導の実際 — 特に3年生の場合 —

足利市立梁田小学校 渡辺善二

I 学習指導案

第3学年 国語科学習指導案

昭和54年6月20日（水）

指導者 渡辺 善二

1 単元名 だいじなことをまとめながら読もう。（説明文）

2 目 標

- (1) 主要語（単元内より精選した語）に対し連想法を用いて、関連語を集めさせることにより、語の拡充と深化を図り、作文を通して定着化させる。
- (2) 文章の要点を正しく読み取ることができるようにする。

- (3) 文と文のつながりを考えて、書かれている内容を正確に読みとることができるようにする。
- (4) 科学的なものの見方や考え方を育てる。

3 指導計画

総時数 8 時間

- | | |
|-------------------------------|--------|
| (1) ありに対する関連語（連想語）の拡充と定着化を図る。 | (1) 本時 |
| (2) 学習計画を立てる。 | (1) |
| (3) 段落を追って要点をまとめる。 | (3) |
| (4) 全文を読み返し、文章全体の要点をまとめる。 | (1) |
| (5) 学習のまとめと評価をする。 | (2) |

4 本時の指導

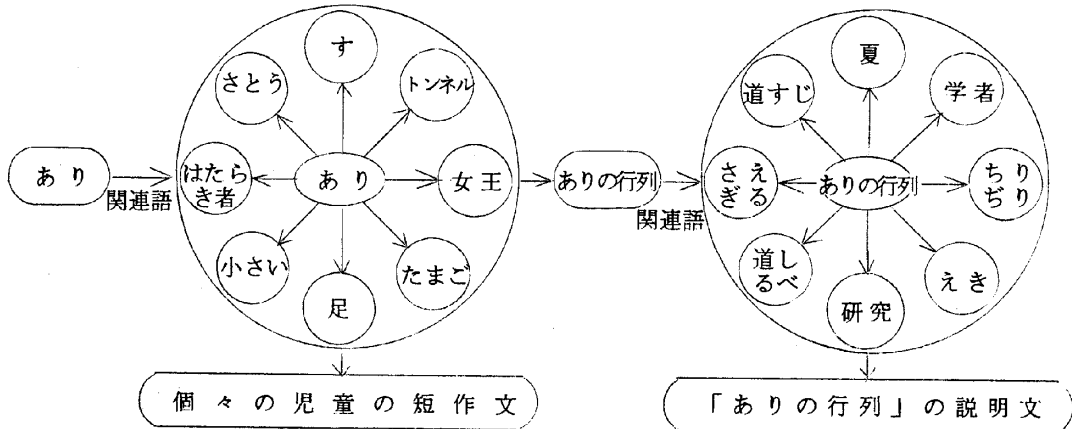
- (1) 題材 ありと関係のある言葉
- (2) 目標

「あり」の関連語を連想法を用いて集めることができるようにし、また、それを用いて作文することができるようにする。

(3) 授業の観点

- 「あり」という語から、児童なりの様々な関連語が出されることが予想される。たとえば、小さい・はたらき者・さとう・トンネル・ぎょうれつなどである。このように連想法により関連語を見つけ出させることは、「語いの拡充」という点からの利点が多いと考える。さらに関連語として、とり出された「語い」を用いての短作文させることにより「語いの定着化」を図ると考えている。
- 題材「ありの行列」に入る前に、「あり」の関連語を連想法により、集めさせることにより、「あり」をとりまく、つながりのある語を増し、また、それを使って短作文させることにより、自分なりに「あり」に対する認識も深まり、スムーズに入れるものではないかと思い、単元の初めに語い指導を位置づけた。

(本時)



(4) 展 開

＜※ 同和教育指導上の留意点＞

過程	指導内容	学 習 活 動	時形	指導上及び資料活用上の留意点	評 価 方 法
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 予備学習 「あり」と聞いて思い出せる言葉を10語集めなさい。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のノート・カードに記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業前に提出させ、関連語についてチェックしておく。
拡 充 (1)	関連語集	1 友だちの集めた関連語を知り、さらに自分の関連語の量を増すようにする。	10 グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ※各自でやってきた予備学習のもとに、同じ言葉ごとに関連語を出し合いまとめさせる。 ○ 自分で集めてきた中がない言葉は「言葉のノート」に赤で記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちどうし助け合って言葉集めができたか。
拡 充 (2)		2 グループで整理した関連語を発表し、また、他のグループで出された新しい語を知る。	15 全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各グループで多く出された関連語を発表させる。 ○ 他のグループで出された新しい言葉をノートに赤で記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス全体で関連語が多くだされたかを発表された言葉の数から評価する。
深 化	短文作り	3 関連語を使って短文を作る。	15 個	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス全体で調べた関連語を使って、短文させる場合、言葉を多い順から10選び連想語とする。 ○ 多く出された関連語のうち上位10語を用いて作文させる。 ○ 最初の10語について、作文の書けた児童については、次の10語を与えるというよう、次の段階に進ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間巡視及び事後に作業用紙を提出させることにより、短文の中にも使用されているかを評価する。

(5) 資料・作業用紙

授業記録の中で示す。

II 授業記録

学 習 活 動	発問・反応(T 教師 P 児童)・板書																					
<p>1 予備学習の発表</p> <p>2 学習のめあて①</p>	<p>T 予備学習を読んでみましょう。</p> <p>P 「あり」と聞いて思い出させる言葉を10集めなさい。 (予備学習板にはられた予備学習課題を読む。)</p> <p>T 今日は、みなさんが集めてきた言葉をもとに学習します。</p> <p>T 今日の第1番目の学習のめあては、これです。 板書(「あり」に関係ある言葉を集める。)</p> <p>T みんなで、めあてを読んでみましょう。</p> <p>P ありについてつながりのある言葉を集める。</p> <p>(板書1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習板</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「あり」と聞いて思い出させる言葉を10集めなさい。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習のめあて 「あり」について関係のある言葉を集める。</p> </td> </tr> </table> </div>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習板</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「あり」と聞いて思い出させる言葉を10集めなさい。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習のめあて 「あり」について関係のある言葉を集める。</p>																			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習板</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「あり」と聞いて思い出させる言葉を10集めなさい。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予備学習</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習のめあて 「あり」について関係のある言葉を集める。</p>																					
<p>3 グループでトランプ遊びをする。 (同じ言葉ごとに整理する。)</p>	<p>T グループでいつもやっているように、トランプ遊びをしながら同じ言葉ごとに整理し多い順に机に並べなさい。時間は10分間です。 (自分で集めてきた中にない場合は、言葉のノートに記録させる。)</p> <p>P 終わりました。</p> <p>T 終わったグループは、発表しやすいようにしなさい。</p>																					
<p>4 全員で同じ言葉ごとに整理する。</p>	<p>T グループで集めたものを1班から順に発表しなさい。 (1班から多い順に発表する。)</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>カード</p> <p>↑</p> <table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">か</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">も</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">六</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">た</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">女</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(ありの)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">速</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">じ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ぐ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">本</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ま</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">王</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">す</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">い</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">る</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">る</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">足</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ご</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">あり</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">「あり」に関係ある言葉</p>	か	も	六	た	女	(ありの)	速	じ	ぐ	本	ま	王	す	い	る	る	足	ご	あり		
か	も	六	た	女	(ありの)	速																
じ	ぐ	本	ま	王	す	い																
る	る	足	ご	あり																		

